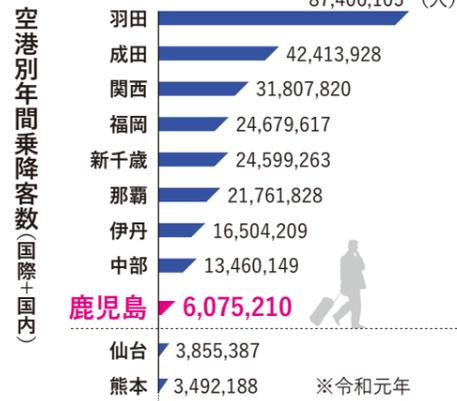


全国第9位の乗降客数

近年、国際線の増便やLCCの就航などにより、順調に乗降客数を伸ばしてきている鹿児島空港。今では、世界自然遺産に登録された屋久島や奄美大島・徳之島といった県内離島はもちろん、国内主要都市や成長著しいアジア諸国とつながる「九州の南の玄関口」として、全国第9位の乗降客数を誇る空港へと成長しました。



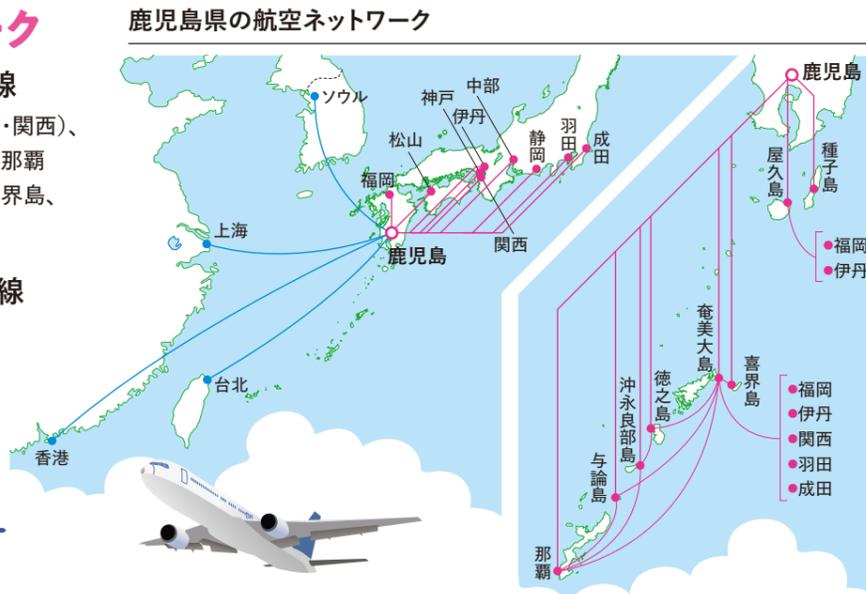
多様な路線ネットワーク

■ 全国・離島を結ぶ国内17路線

鹿児島-東京(羽田・成田)、大阪(伊丹・関西)、中部、神戸、静岡、松山、福岡、那覇
 鹿児島-種子島、屋久島、奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島

■ 東アジアとつながる国際4路線

鹿児島-ソウル(約90分)
 鹿児島-上海(約100分)
 鹿児島-台北(約120分)
 鹿児島-香港(約180分)



進化する空港施設

■ 生まれ変わった国際線ターミナルビル

令和2年7月に国際線ターミナルビルの増改築工事が完了し、2便同時離発着などが可能となりました。これにより、年間約60万人の利用客を受け入れられる施設になりました。



■ 九州初ビジネスジェット専用施設「桜島」の完成

令和3年8月に九州初のビジネスジェット専用施設が完成しました。プライバシーが確保された専用動線により、ビジネスジェット利用客は快適・スムーズな出入国が可能となりました。



写真提供：鹿児島空港ビルディング株式会社

こんな施設もあるよ！

サイクルステーション&レンタサイクル

令和3年3月に自転車の組み立てや解体ができるスペースが完成。組み立てに必要な工具セットなども1階観光・総合案内所にてレンタルできます。

6月からは期間限定でレンタサイクルのサービスも開始しています。(1階観光・総合案内所にて1時間500円で貸出)

天然温泉足湯「おやっとさあ」

「おやっとさあ」は鹿児島の方言で「お疲れさま」の意味。温泉王国鹿児島をPRする施設として、気軽に温泉気分を味わえる天然温泉足湯を設置しています。



くす玉を割って祝う塩田知事ら

開港50周年記念セレモニー
 鹿児島空港は、昭和47年に旧空港のあった鹿児島市鴨池から現在の霧島市溝辺町に移転開港し、今年4月1日に50周年を迎えました。
 1日には、同空港において記念セレモニーを開催。塩田知事をはじめ、行政、航空各社、経済団体などの関係者ら約30人が出席し、50年の節目を祝いました。
 また、1日から3日にかけては、空港の歩みを紹介するパネル展や航空各社によるお仕事体験、展望デッキでの大空マルシェなどのイベントが開催され、多くのお客さんでにぎわいました。

そのほかにも...

年間を通じて記念イベントを実施！



エアバスA350で行く富士山遊覧チャーター

6月12日(日)にJALによる鹿児島空港発着の富士山遊覧チャーターが実施されました。エアバスA350型機は快適性や環境性能を追求した最新鋭機で、鹿児島へのフライトは今回が初となりました。



「鬼滅の刃」特別運航&航空教室

5月15日(日)に人気アニメ「鬼滅の刃」の登場人物を機体にあしらったANAの特別デザイン機が運航されました。当日は機体の見学や航空教室も実施され、多くの子どもたちでにぎわいました。



市町村PRリレー @鹿児島空港

5月から県内外市町村が交替りでブース出展を行う「PRリレー」を実施しています(12月中旬まで実施予定)。スケジュールは鹿児島空港HPで随時更新中!



鹿児島空港

開港50周年！

昭和47年に現在の霧島市溝辺町に移転開港して、今年で50周年を迎えた鹿児島空港。今では国内外とつながる「九州の南の玄関口」として、全国第9位の乗降客数を誇る大きな空港へと成長しました。今年には開港50周年を記念したさまざまなイベントが実施されています！